

進捗報告書（実行団体）

事業名:	コロナ禍の住宅困窮者支援事業
資金分配団体:	公益財団法人パブリックリソース財団
実行団体名:	社会福祉法人共生福祉会
実施時期:	2021年11月～2021年12月
事業対象地域:	愛知県
事業対象者:	日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者

Version 1.2

日付: 2022年2月9日

I. 事業概要

事業概要
名古屋市内の住宅地にある元社宅1棟16戸を購入し、支援付き住宅として提供する。そこを一定期間後に無料低額宿泊所として名古屋市に日常生活支援住居の登録申請し、今後支援スタッフの人員費を安定的に確保していき、入居者への生活課題に応じた生活支援や就労支援を行っていく。そのために、当会の生活困窮者相談支援センターや障害者基幹相談支援センター、障害者就業・生活支援センター、ソーネ居住支援センターの生活を支える保証事業と連携していく。当法人がこれまで進めてきた3件のサブリース住宅を使った居住支援活動と合わせて支援付き住宅システム提供体制を確立する。当初予定の11戸の賃貸住宅事業は中止とする。

II. 進捗報告の概要

総括
これから改修工事に入ろうとした11月末の段階で隣の地域重鎮の方から「住まいに困っている人の住宅などとんでもない」と反対の声がぶつけられ、高級住宅街である地域住民の方々の不安があおられていることがわかる。今後の地域連携のために地域住民への丁寧な説明と計画の練直しが必要となる。この事業の対象者として、この地域が大学や専門学校が多い文教地区のためコロナ禍で生活苦で学業を続けることが難しくなっている現状をふまえ、住まいに困っている学生を応援する学生寮を構築し、地域の賛同を得る形で進めることとする。そのため近隣の大学の教授とも相談し、一番困っている児童養護施設出身の学生支援を軸として進めるべく、児童養護施設長の協力がえることができるように動き始め、新たな事業計画の推進に動いている。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
(1)住居完成 購入した物件を住みやすい部屋として活用できるように必要な居室や共用部分の改修及び備品の整備を行う。 (2)住宅提供開始 障害者・高齢者・生活困窮者相談支援機関、行政機関、医療機関、各課題毎のNPO法人等の支援団体に働きかけて、幅広い入居募集を行い、面談・聞き取りをすすめる、速やかに入居を開始する。 (3)サービスの安定供給 まずは、16戸の半数の入居を実現し、入居者一人一人に応じた生活支援・就労支援を上記各機関・団体と連携を進めていく。	(1) 当初のようにすぐに住宅改修に着手することが難しくなっており、まずに地域への説明と一定の理解の上で、2月には改修工事ができるよう進めている (2)及び(3) (1)の改修工事を終えたうえで、充分地域に説明しつつ住宅提供の開始及び入居者の生活支援、就労支援を順次進めていく

活動	進捗状況	概要
進捗状況の(1)に取り組むため ・地域への説明準備 ・地域の大学教授への相談 ・住まいに困る学生の状況把握 把握—行政への問合せ ・児童養護施設の実態確認と今後の協力依頼		・まず地域にきちんと説明できてるような計画確定 ・学生の貧困問題に詳しい教授の助言を得て方向を定める ・名古屋市及び全国の児童養護施設の大学等への進学状況を把握 ・訪問面談して協力の確認をえる

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>1年後の目標地点</p> <p>1)管理人を選出し、同居もしくは通所で学生寮の適切な管理ができるように地元自治会に加入し、住民との窓口となれるようにしていく。</p> <p>2)順次入居者を選考して増やして行き、2年目には全部の入居ができるようにしていく。</p> <p>3)入居者に対する生活支援（相談・食事提供）を行なえ体制ができていく。</p> <p>4)地域との良好な関係を継続していくとともに、学生寮を応援する会を作り上げる。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥83,600,000	¥83,600,000	¥76,000,000	91%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥83,600,000	¥83,600,000	¥76,000,000	91%
補足説明		残額7,600,000円は改修費用であり2月中の執行予定				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>リスク/阻害要因</p> <p>せっかく名古屋市内で唯一みつけれられた旧社宅物件が高級住宅地内の一角にあり一抹の心配をいただいていたが、直ぐ隣の方から、また何の情報も地域に提供していない段階で強い反対の意が表明されることになった。ホームレスの家ができるのではないかといった風評が広がっており、まずはその対応を求められることになった。</p> <p>その対応</p> <p>幸い強硬反対の方が相談した県会議員が当会の長年の応援者であったことも幸いして話し合いをすぐに持つことができた。その方自体は説明を聞く姿勢もなく強硬であるが、他に同席したその方の息子さんや地域の方々は冷静にことらのことに耳を傾ける姿勢があり、今後もこちらも十分に安心してもらえる計画を立てて、丁寧に説明していけば十分事態を打開できるものと思っている。</p>

VII. その他

自由記述
<p>当初に一般住宅として粛々と計画を進める予定であったが、当方の見通しが甘く、もともと手に入れた旧社宅自体が近所の評判がよくなく、目をつけられていたことが影響したようである。でも「雨降って地固まる」がごとくこちらもしっかりとした計画を立て確固たる事業としていく決意を固め、せっかくの助成に添えていく所存である。</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	